

国体でボート競技

とださちお けいいち
戸田幸雄さん、圭一さん
「少年女子」の栃木選抜

2つの国体結び、3世代の熱意が結集

「3年間の蓄積を出し切った」。賞状を手に、笑顔がはじけます(写真右下)。10月4日、遊水地の谷中湖特設コースで行われた国体ボート競技の表彰式。私、藤倉望妃(同前列左端、写真上=佐野高校で後日撮影=の前列左端)たちは、「少年女子」の5人乗り「クオドルプル」に、佐野高校と佐野東高校の「栃木選抜」で出場。予選から勝ち残り、5~8位決定戦で接戦(写真左下)の末、7位入賞。表彰台に「栃木県」を掲げられました。

式典の最後の閉会宣言。県ボート協会理事長の私、戸田幸雄(同上の後列左)は、全国の関係者に語りかけました。「まだまだ未熟ですが、これを機に(さらに栃木県勢の)力をつけていきたい」。万感の思いでした。

始まりは42年前の「栃の葉国体」。モントリオール五輪に日本代表で出場した後、佐野高校教諭になった私は急ぎ選手の育成を託されました。が、結果は予選敗退など。「必ずやボート有力県にする」と決意しました。

多くの先生が熱意を継ぎました。今国体で「少年女子」の監督を務めた私、戸田圭一(同後列右)もその一人。理事長の父をなぞるように、大学時代に全日本大学選手



権の「エイト」種目で優勝し、母校の佐野高校教諭に。「国体」を合言葉に、選手と練習を重ねてきました。

今回、県勢は3種目で入賞し全体で19位。3世代の熱意を形にできました。競技中、谷中湖畔には観戦、応援してくれる子どもたちの姿が。次の世代の選手が現れてくれるのを期待します。戸田理事長は(☎090-1855-3889)。



栃木県

For 愛する家族 誰のために つくるのか?

家づくりが「もっと」愛おしいものになる。

MARUWA 丸和住宅
J Y U T A K U

お電話でのお問い合わせは マルワ ヨイイエ
☎0120-08-4118
受付時間: 9:00~18:00 定休日/毎週火曜日・水曜日
住所 〒328-0043 栃木県栃木市境町23-26

丸和住宅